



80%以上の選択肢に

# ジェネリック医薬品使用状況報告書

(令和2年4月診療分)

2021年1月作成



全国健康保険協会 島根支部  
協会けんぽ



# 目的

---

- 国は国民皆保険制度を堅持する方策の1つとして「2020年9月末までにジェネリック医薬品の使用割合を80%」とする数値目標を定めている。
- 協会けんぽ島根支部の2020年4月時点のジェネリック医薬品使用割合は82.5%（協会けんぽ島根支部部分）と目標を達成している。
- 今後さらに促進を図るため、ジェネリック医薬品に関する基礎的な集計分析を行った。

## データの注意点

- 令和2年4月診療分の医科、DPC、調剤レセプトを対象とする。DPCについてはコーディングデータを集計対象とする。
- 地域別の集計は、医療機関および薬局の所在地に基づく。
- 数量は、薬価基準告示上の規格単位毎に数えたもの。ただし、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬、漢方を除く。
- ジェネリック医薬品使用割合は、【後発品数量 ÷ (後発のある先発品数量 + 後発品数量)】
- 医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報（令和2年6月19日適用）」による。

## 用語の説明

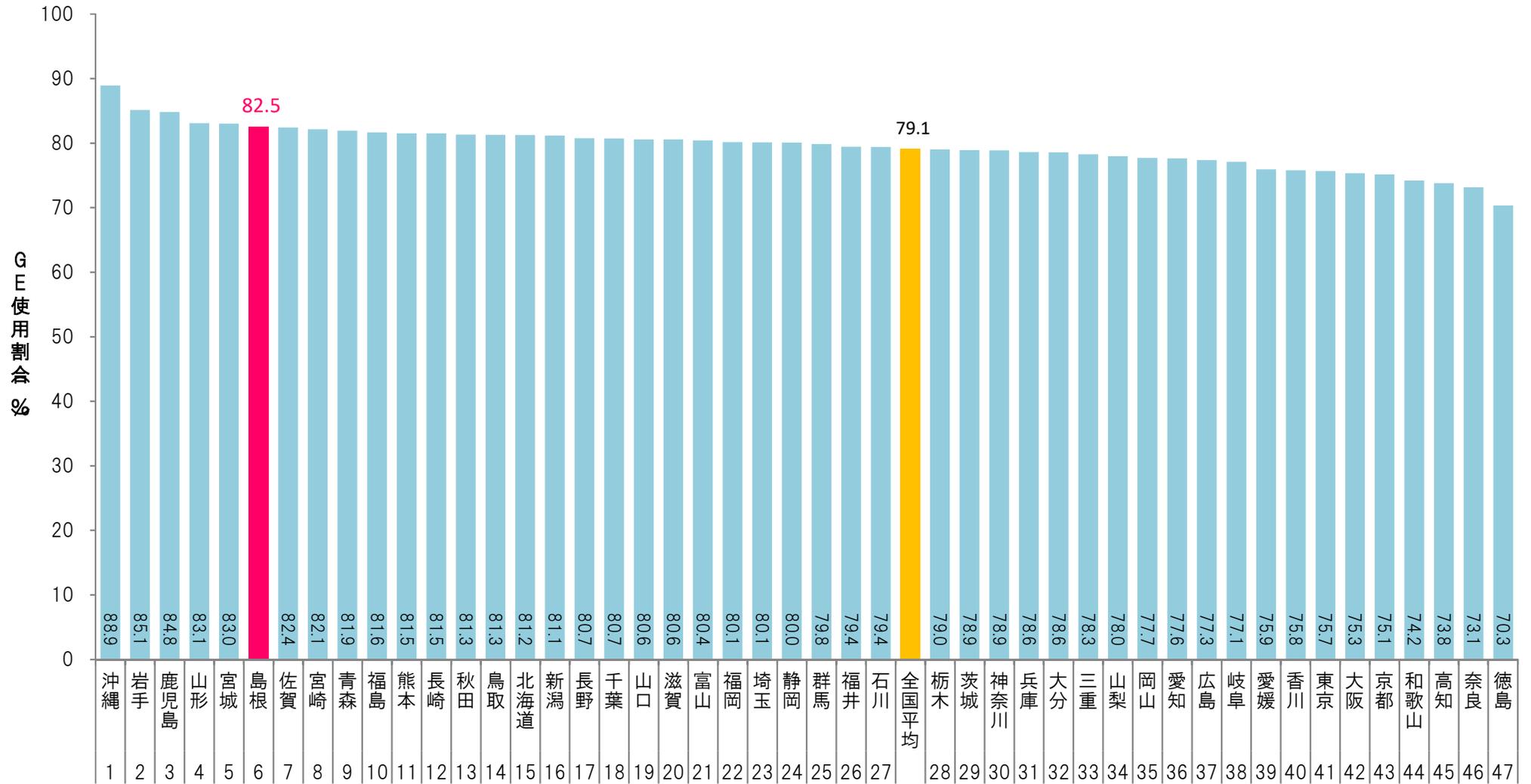
- 本資料では「ジェネリック医薬品」を「GE」と表記する。
- 「影響度」とは、GE使用割合を偏差値に変換し、偏差値50からの差分が県全体のGE使用割合に与える影響を示す。たとえば、影響度が+0.6ならば、当該指標が県全体のGE使用割合を0.6ポイント引き上げていることを意味する。

# 協会けんぽ島根支部における傾向

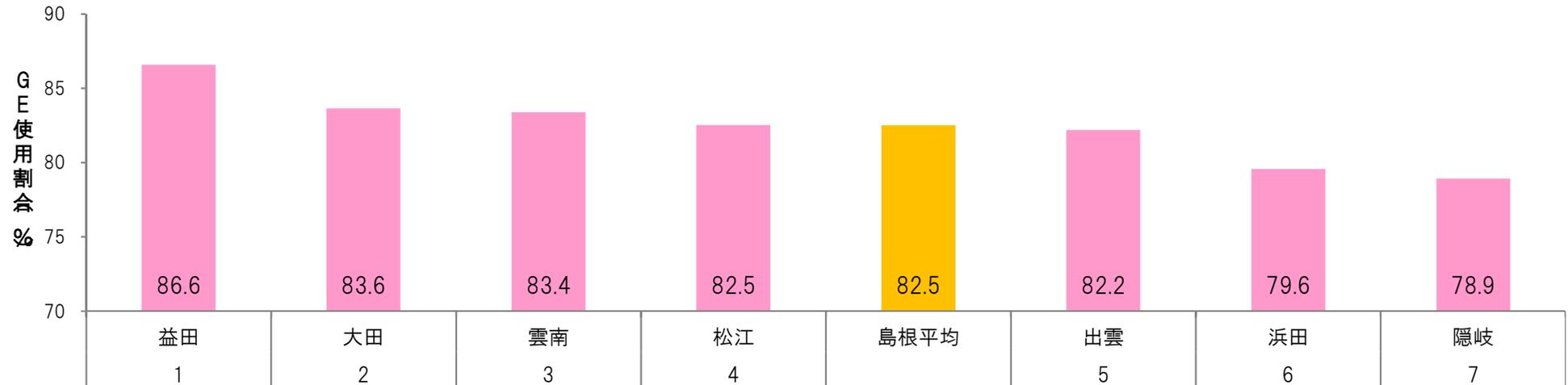
---

- 使用割合は82.5%で全国6位（2020年4月診療分）
- 二次医療圏別では浜田圏域の影響度が $-0.36$ と最も引下げ方向に働いており、次いで出雲圏域・隠岐圏域の $-0.08$ となっている
- 院内処方は院外処方に比べ相対的に使用割合が低い
- 院外処方、全域で80%を達成している
- 薬効別では影響度が唯一マイナスとなっているのが「外皮用薬」である
- 年代別では、40歳以上の年代で使用割合が高いが、20歳未満は低くなっており、世代間のギャップがある

# 支部別GE使用割合／全体（2020年4月診療分）



# 島根支部／二次医療圏別GE使用割合／全体



影響度

+0.36

+0.08

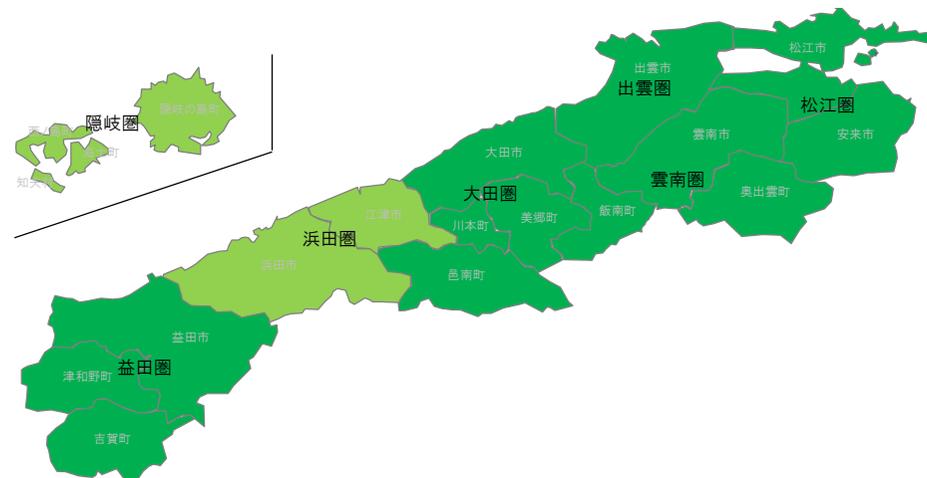
+0.06

+0.02

-0.08

-0.36

-0.08



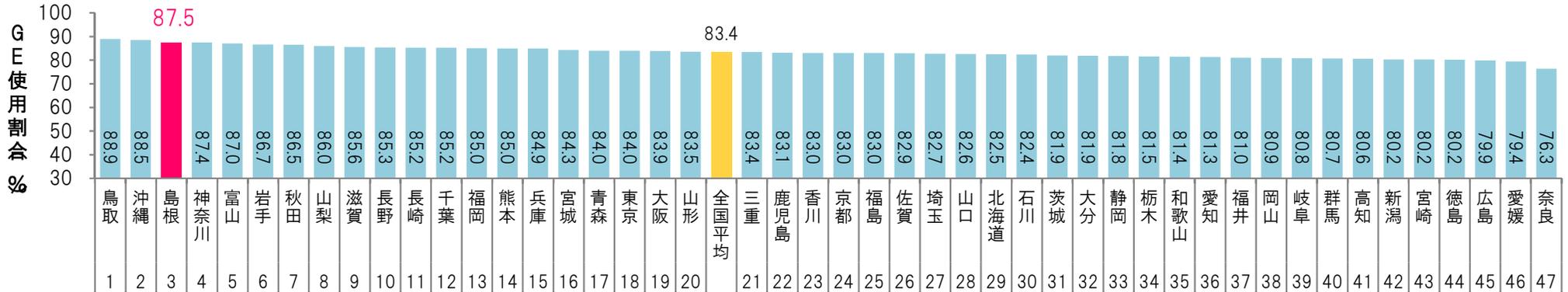
《塗り分け基準》

以上	未満	色
80.5		緑
78	80.5	黄緑
75.5	78	黄
73	75.5	オレンジ
	73	赤

# 支部別GE使用割合／院内処方

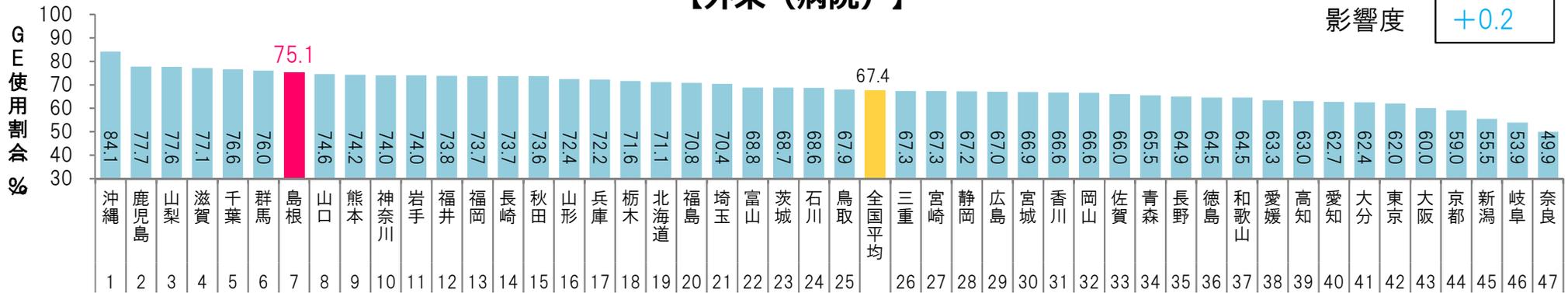
## 【入院】

影響度 +0.1



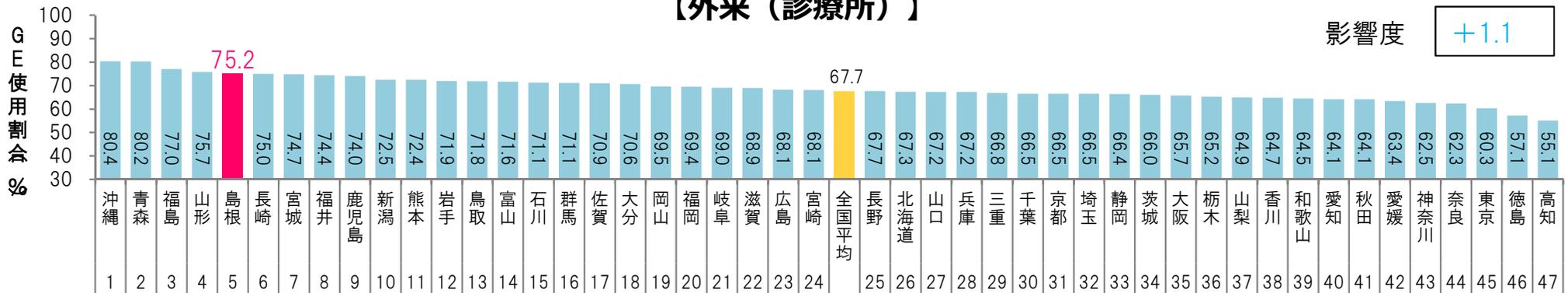
## 【外来（病院）】

影響度 +0.2



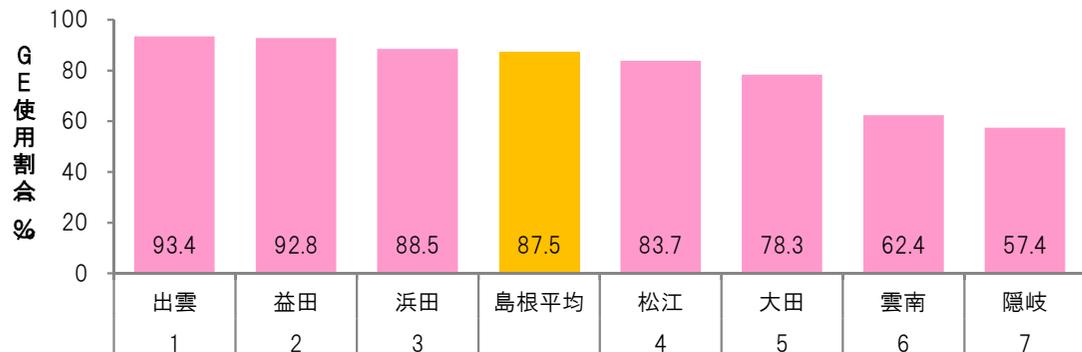
## 【外来（診療所）】

影響度 +1.1

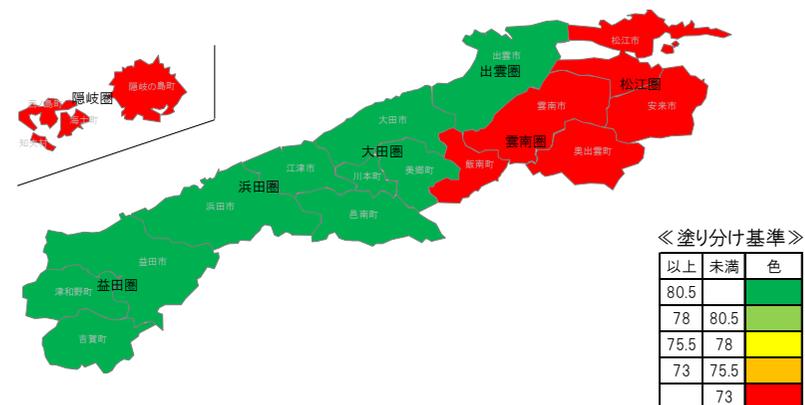
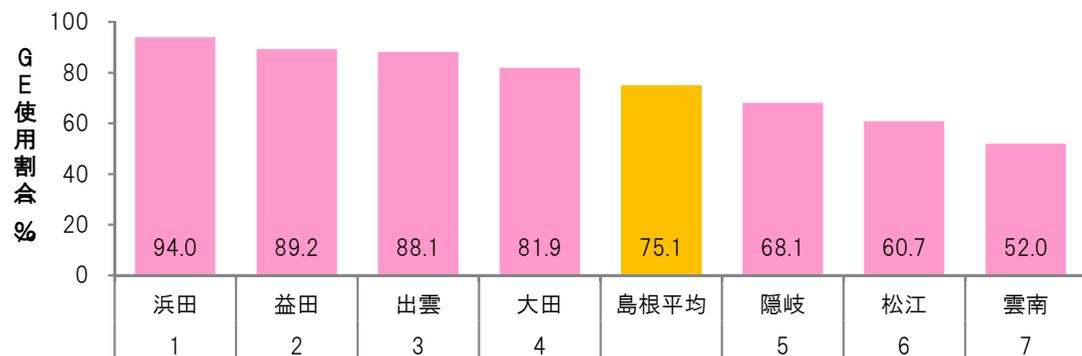


# 島根支部／二次医療圏別GE使用割合／院内処方

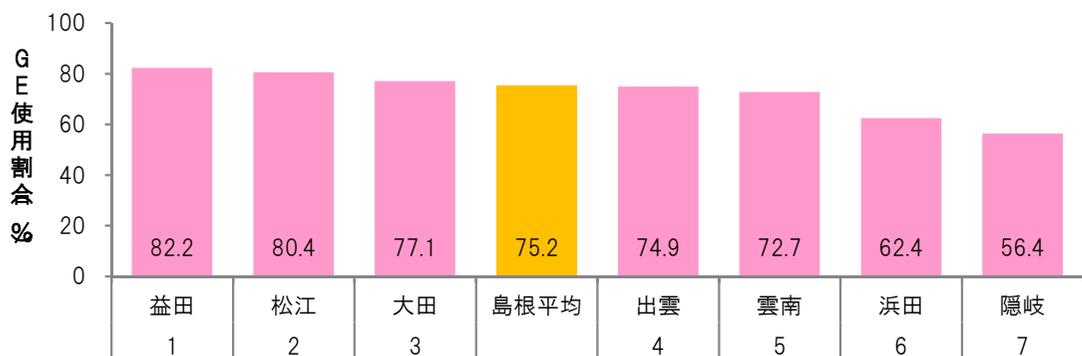
## 【入院】



## 【外来（病院）】



## 【外来（診療所）】

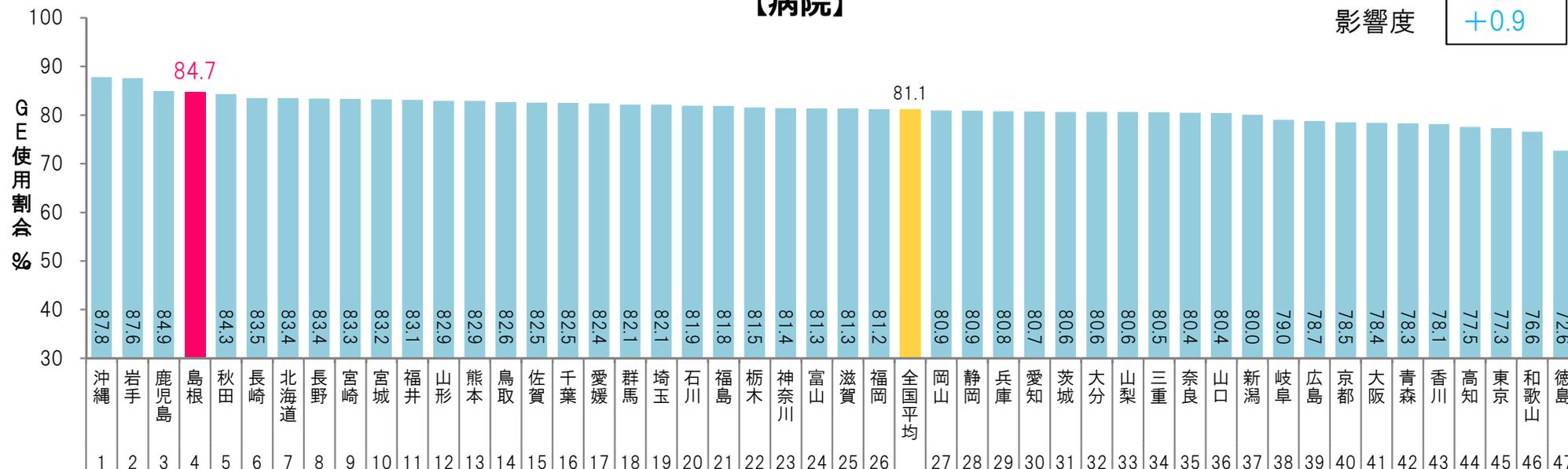


# 支部別GE使用割合／院外処方

## 【病院】

影響度

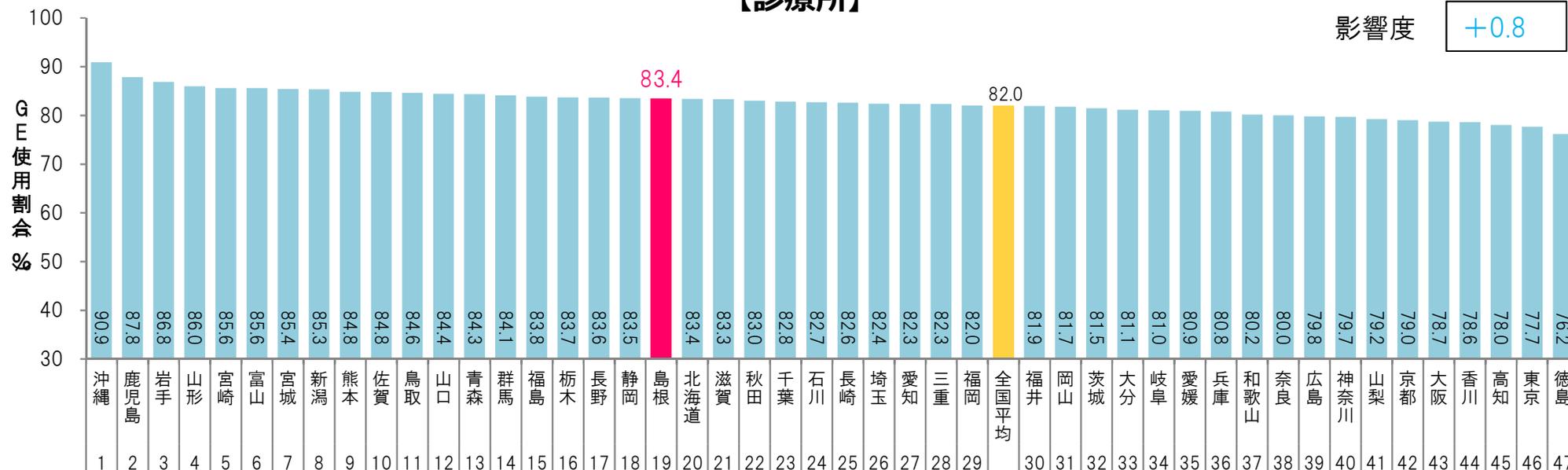
+0.9



## 【診療所】

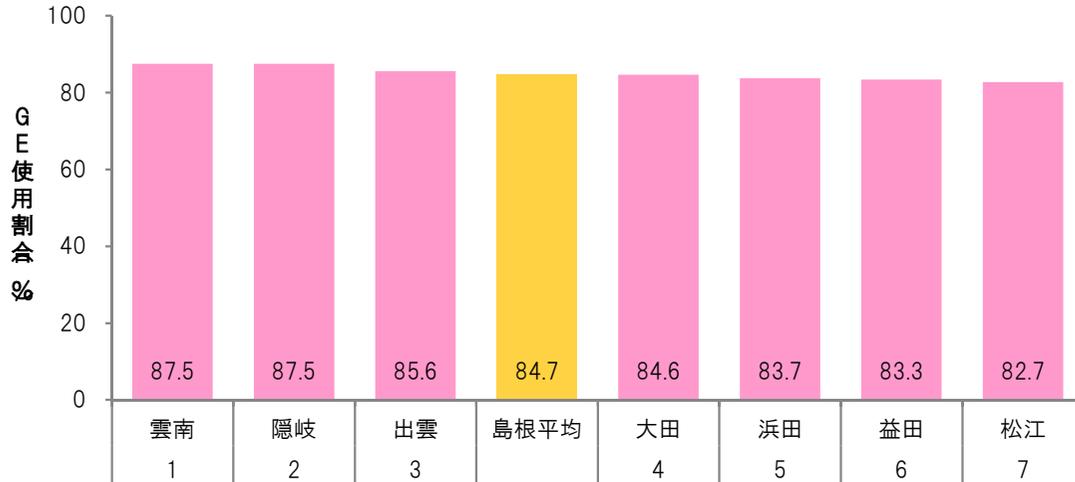
影響度

+0.8

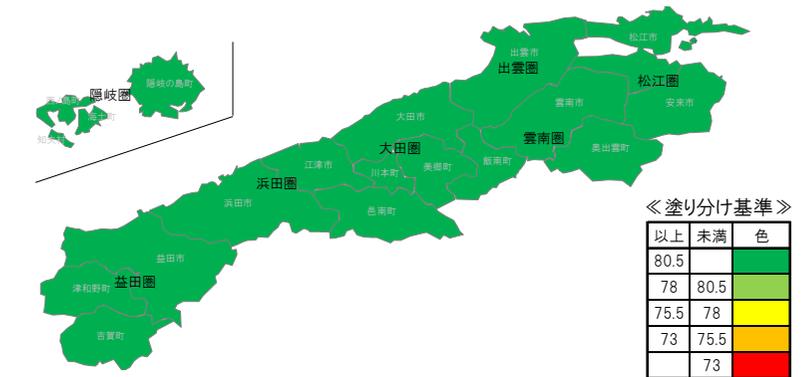
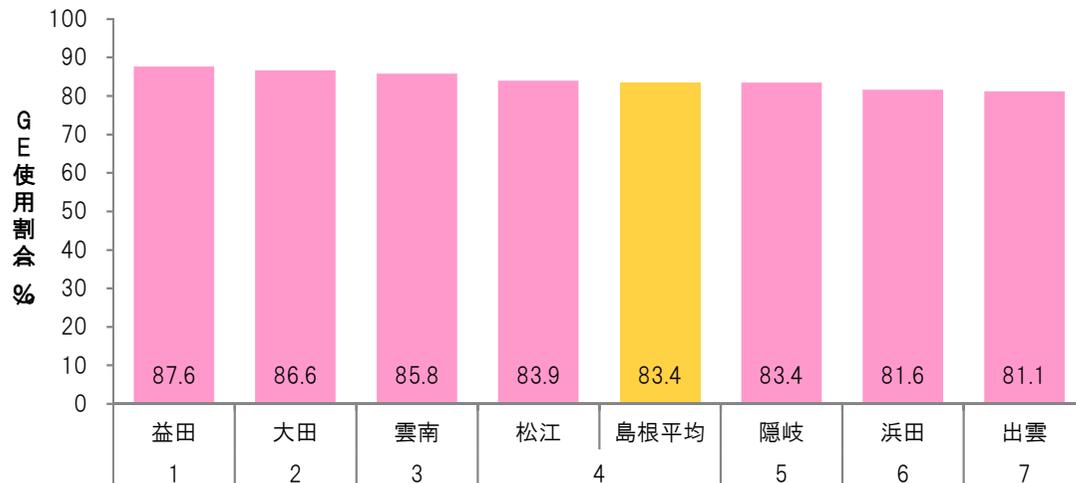


# 島根支部／二次医療圏別GE使用割合／院外処方

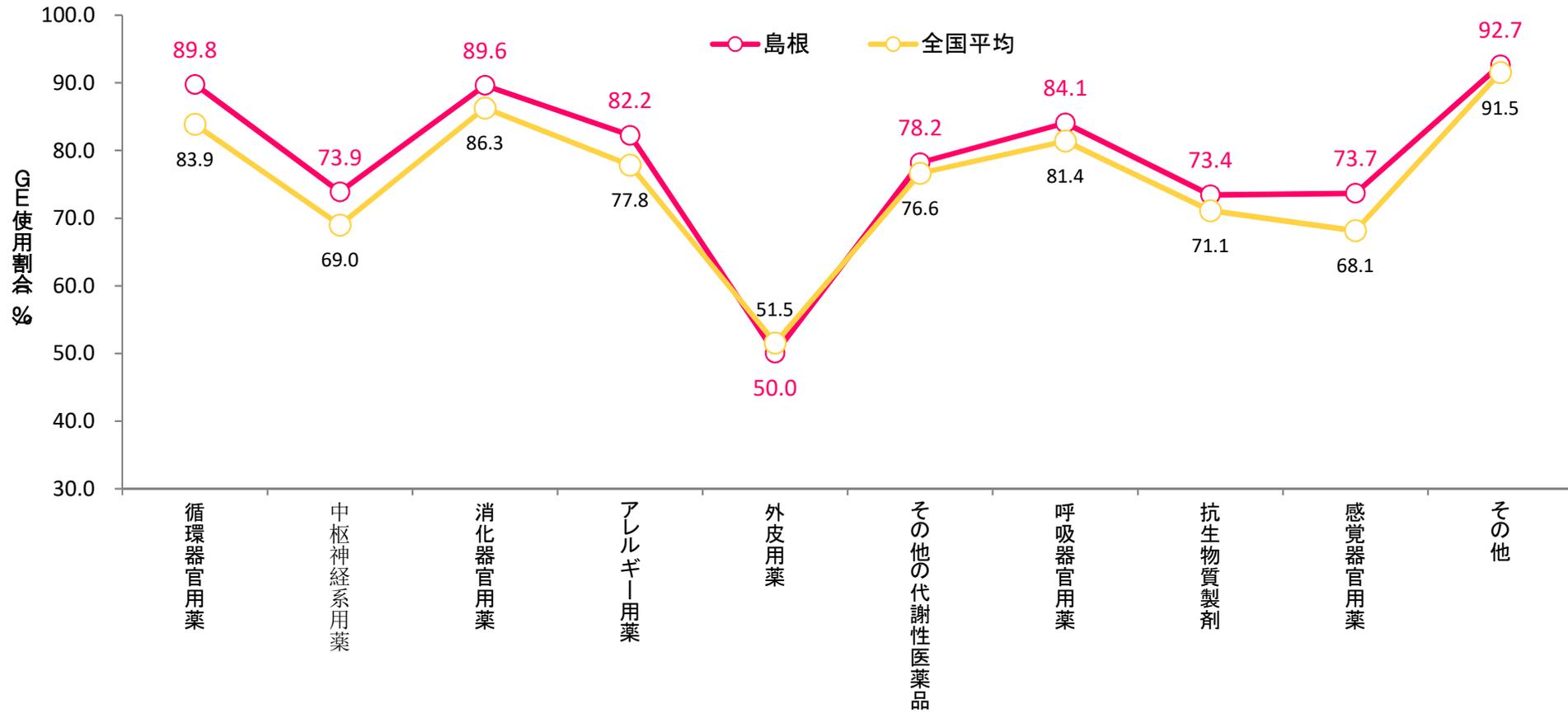
## 【病院】



## 【診療所】



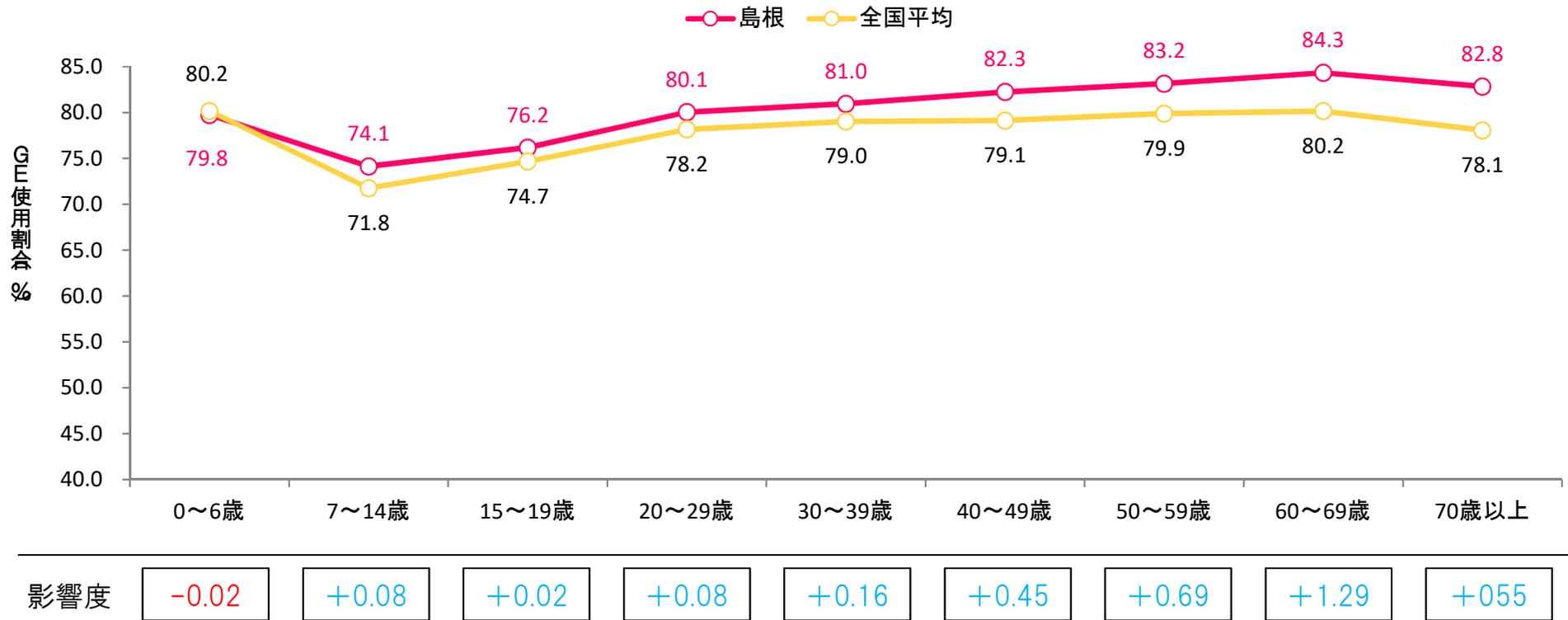
# 島根支部／薬効別GE使用割合



影響度

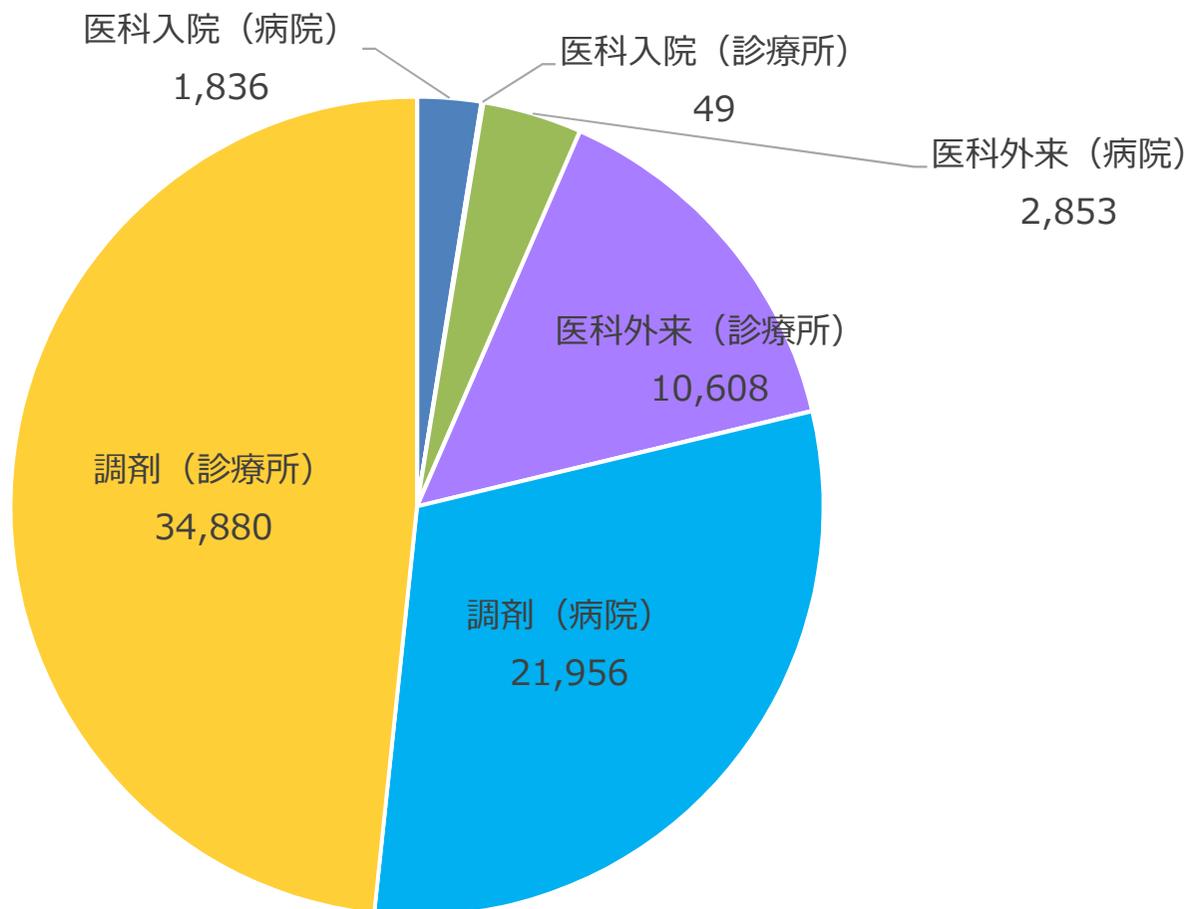
+1.5	+0.8	+0.5	+0.3	-0.1	+0.1	+0.2	+0.0	+0.1	+0.2
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

# 島根支部／年代別GE使用割合



## 【参考】島根支部／ジェネリック医薬品軽減可能額（診療別）

(千円)



合計：72,183千円

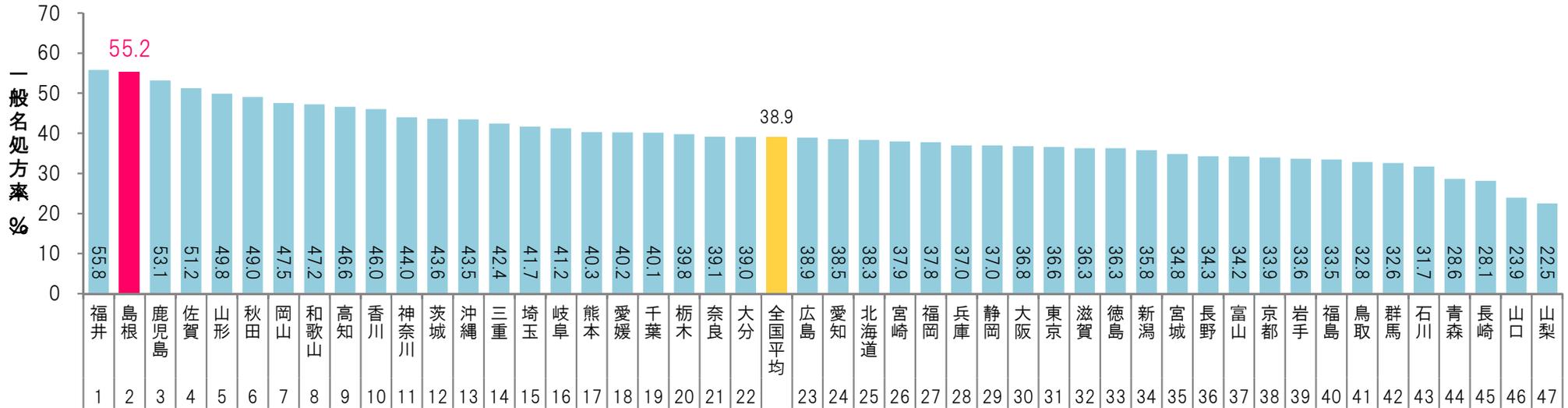
（ 医科外来（診療所）・調剤（診療所）合計：45,488千円(63.0%)  
調剤（病院）・調剤（診療所）合計：56,836千円(78.74%) ）

※端数整理のため、内訳の和は必ずしも合計とはならない。

# 支部別一般名処方率／院外処方

※実質一般名処方率として、一般名処方加算にヒモ付くレセプト数に基づいて算出している。  
 (一般名処方加算1または2が存在する医科レセプトに、支部、記号、番号、性別、生年月日がヒモ付く調剤レセプトの数)/(調剤レセプトの数)  
 ※一般名処方率の影響度は全国傾向に基づいた推計値のため、母数が少ない地域では大きな誤差が生じる可能性がある。

## 【病院】

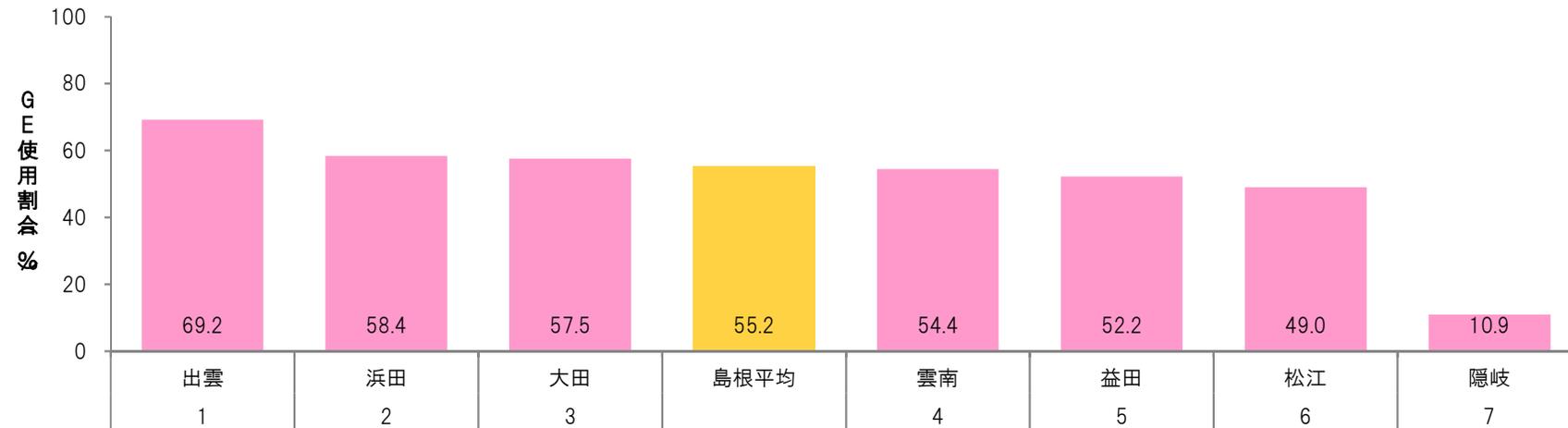


## 【診療所】



# 島根支部／二次医療圏別一般名処方率／院外

## 【病院】

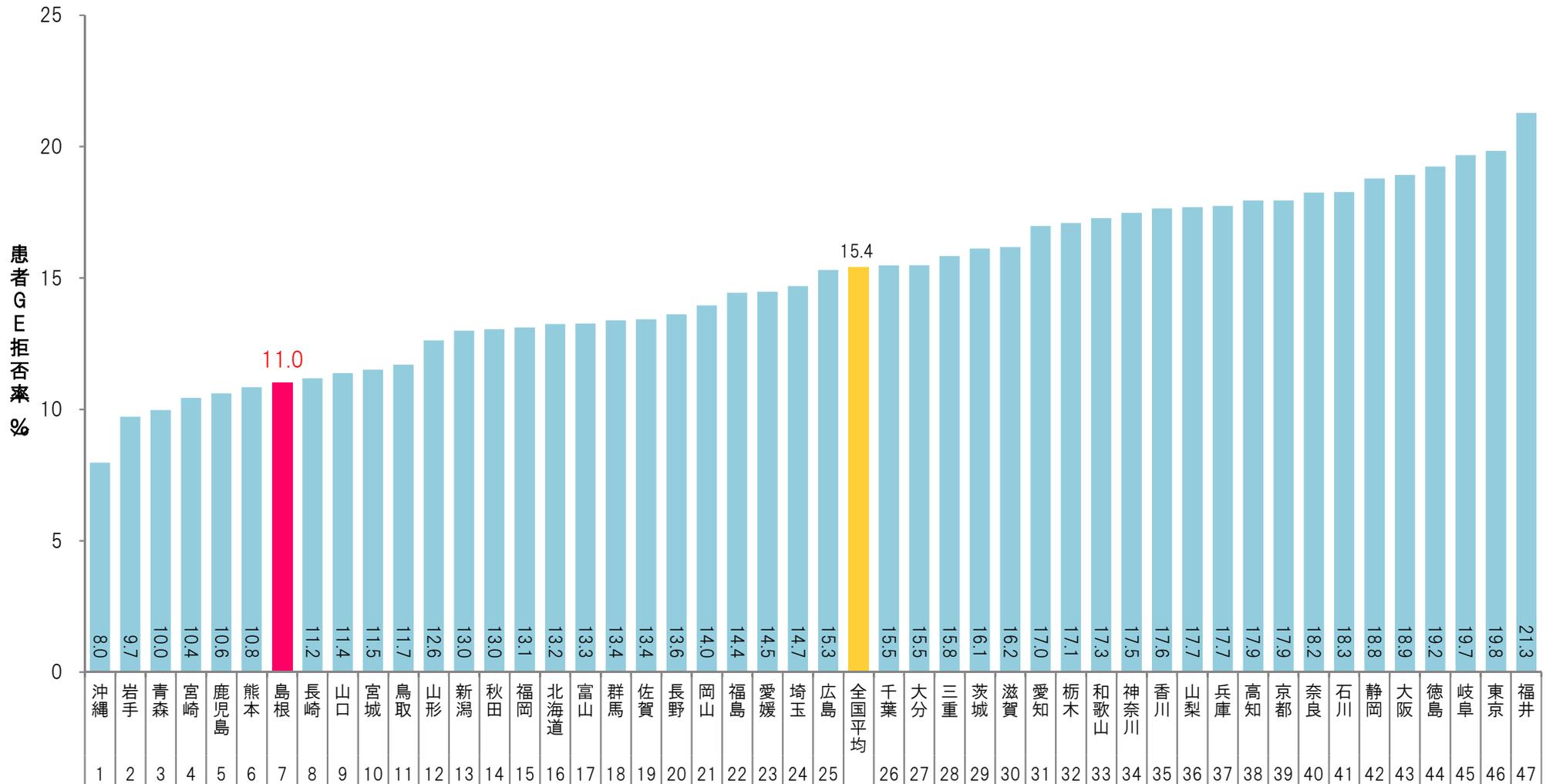


## 【診療所】



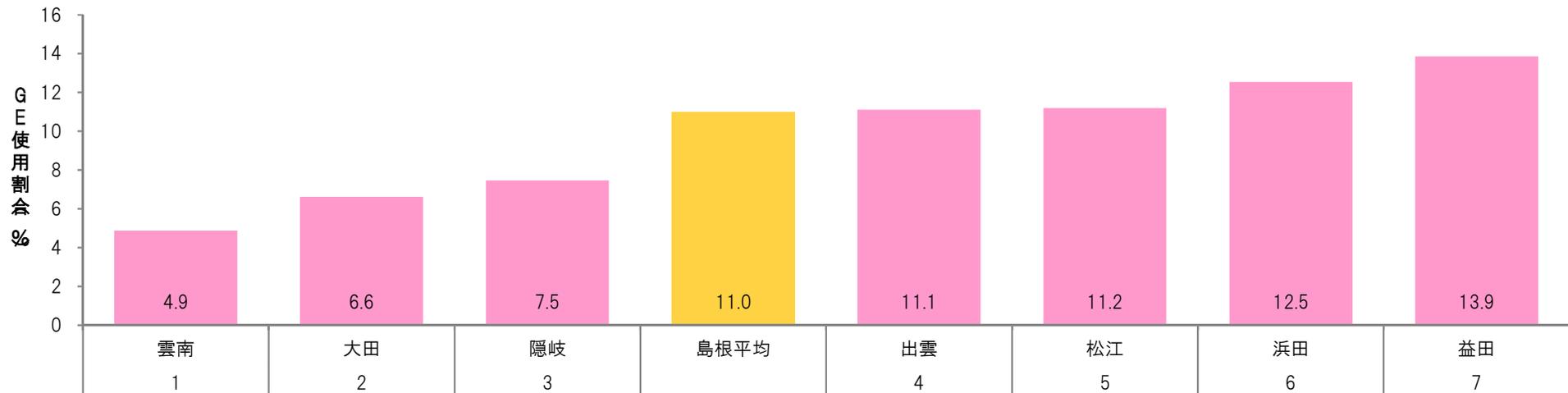
# 島根支部／支部別患者GE拒否率

「調剤レセプトの患者の都合で後発品を調剤しなかったコメントレコードのあるレセプト数」を「一般名処方加算が存在する医科レセプト」で除して算出



## 【参考】島根支部／二次医療圏別患者拒否率

「調剤レセプトの患者の都合で後発品を調剤しなかったコメントレコードのあるレセプト数」を「一般名処方加算が存在する医科レセプト」で除して算出







80%以上の選択肢に

# ジェネリック医薬品促進の取り組みについて

2021年1月作成



全国健康保険協会 島根支部  
協会けんぽ



## 島根支部の主な取り組み

---

### 1. 加入者・事業所向け

- ジェネリック医薬品希望シールの提供
- ジェネリック医薬品への切り替えによる軽減額の通知 など

### 2. 医療機関向け

- ジェネリック医薬品処方実績リストの提供
- ジェネリック医薬品疾患別価格差リーフレットや使用促進ポスターの配布
- ジェネリック医薬品使用割合通知 など

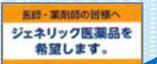
### 3. 各種媒体による広報

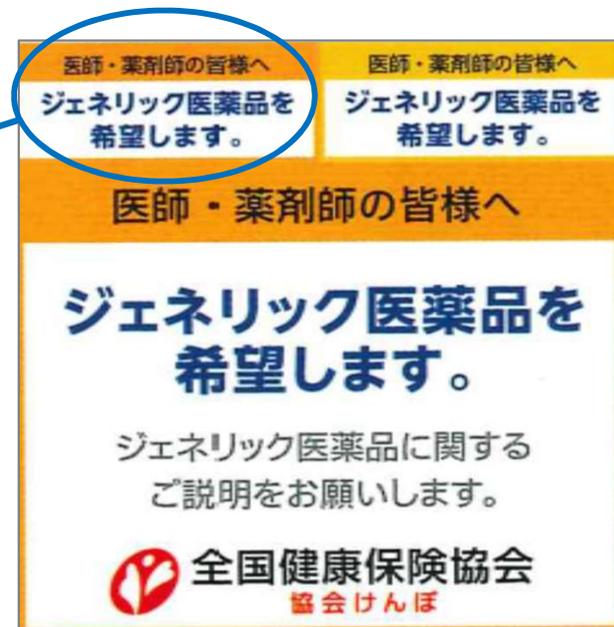
- 関係団体広報紙等各種媒体を活用した広報の実施

## 加入者・事業所への主な取り組み

### (1)ジェネリック医薬品希望シールの提供

- 被保険者証を交付する時や「ジェネリック医薬品への切り替えによる軽減額の通知」を送付する時に同封。

健康保険 被保険者証	本人（被保険者）	00111
		平成26年 6月25日交付
	記号 21700023 番号	21
氏名	キョウカイ 如ウ 協会 太郎	
生年月日	平成 元年 5月 10日	
性別	男	
資格取得年月日	平成 26年 6月 1日	
事業所名称	<input type="radio"/> 株式会社	
保険者番号	<b>01010016</b>	
保険者名称	全国健康保険協会 <input type="radio"/> 支部	
保険者所在地	<input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 区 <input type="radio"/> 町 <input type="radio"/> - <input type="radio"/> - <input type="radio"/>	



大きいシールは、お薬手帳用です！

# 加入者・事業所への主な取り組み

## (2)ジェネリック医薬品への切替による減額通知の送付

- 先発医薬品から切り替えた場合の自己負担軽減額通知を加入者へ送付。

### 【実施状況】

実施時期	送付件数	切替件数(切替率)
1回目(R2年8月)	21,891件	未確定
2回目(R3年2月予定)	—	—

### 【自己負担軽減額通知（見本・抜粋）】

お問合せ番号: \_\_\_\_\_



**ジェネリック医薬品をお使いいただくと  
あなたのお薬代を減らすことができます!**

\_\_\_\_\_ に処方されたお薬のうち、  
以下の医薬品をジェネリック医薬品に変更した場合

お薬代の軽減可能額

診療分で処方されたお薬(先発医薬品)		ジェネリック医薬品に変更することで軽減できるお薬代
医療機関/薬局	お薬名	

お薬代 (別負担)

### 【ジェネリック医薬品軽減額通知 年度別効果実績表】

年度	通知対象条件	回数	通知件数	切替者数	切替率	軽減額/月(千円)	軽減額/年(千円)
平成21年度	・40歳以上の加入者 ・軽減効果額200円以上	【全1回】	10,111	2,873	28.4%	4,773	57,277
平成22年度	・35歳以上の加入者 ・軽減効果額300円以上 ・21年度通知者は対象外	【全1回】	4,067	851	20.9%	1,119	13,427
平成23年度	・35歳以上の加入者 ・軽減効果額300円以上 ・22年度通知者は対象外	【全1回】	5,646	1,379	24.4%	2,035	24,416
平成24年度	・35歳以上の加入者 ・軽減効果額医科400円以上、調剤200円(2回目は400円)以上 ・23年度通知者は対象外	【1回目】	6,892	1,867	27.1%	2,649	31,782
		【2回目】	1,944	522	26.9%	778	9,341
平成25年度	・35歳以上の加入者 ・軽減効果額医科400円以上、調剤250円(2回目は400円)以上	【1回目】	8,772	2,207	25.2%	2,982	35,787
		【2回目】	3,298	1,070	32.4%	2,228	26,733
平成26年度	・35歳以上の加入者 ・軽減効果額医科600円以上、調剤150円以上	【1回目】	10,700	3,173	29.7%	4,811	57,735
		【2回目】	10,502	2,792	26.6%	4,054	48,646
平成27年度	・35歳以上の加入者 ・軽減効果額医科600円以上、調剤100円以上	【1回目】	11,730	3,455	29.5%	4,977	59,729
		【2回目】	12,427	3,696	29.7%	5,347	64,167
平成28年度	・20歳以上の加入者 ・軽減効果額は医科600円以上、調剤100円(2回目50円)以上 ・対象診療月を従来の1ヶ月から2ヶ月に拡大	【1回目】	19,518	5,290	27.1%	7,689	92,269
		【2回目】	18,872	5,045	26.7%	7,020	84,237
平成29年度	・20歳以上の加入者 ・軽減効果額は医科600円以上、調剤50円以上 ・対象診療月は2ヶ月	【1回目】	23,015	6,873	29.9%	10,638	127,651
		【2回目】	21,683	8,008	36.9%	14,238	170,859
平成30年度	・20歳以上の加入者 ・軽減効果額は医科600円以上、調剤50円以上 ・対象診療月は3ヶ月	【1回目】	22,603	6,679	29.5%	9,270	111,243
		【2回目】	18,022	5,442	30.2%	8,443	101,321
令和元年度	・1回目:18歳以上の加入者 ・2回目:15歳以上の加入者 ・軽減効果額は医科500円以上、調剤50円以上 ・対象診療月は3ヶ月	【1回目】	20,778	6,653	32.0%	8,669	104,034
		【2回目】	17,516	4,971	28.4%	7,233	86,792
合計			248,096	72,846	29.4%	108,954	1,307,447

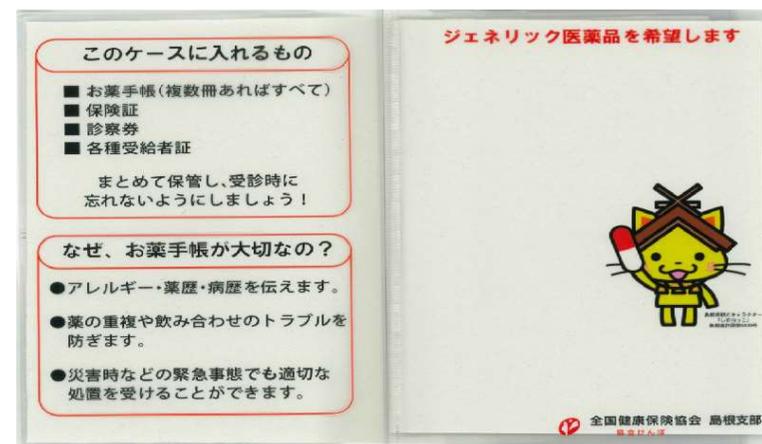
○平成21年度から令和元年度2回目通知までの累計(人数はのべ人数)  
○軽減額/年:軽減額(月)×12ヶ月(単純推計)

約13億円

## 加入者・事業所への主な取り組み

### (3)自己負担軽減額通知後の未切り替え者への「お薬手帳カバー」による啓発

- ジェネリック医薬品軽減額通知により先発薬からジェネリックへ切り替えなかった者のうち切替効果が2,000円以上の者を対象に「啓発文書」と「お薬手帳カバー」を送付。



# 医療機関への主な取り組み

## (1)ジェネリック医薬品(後発医薬品)実績リストをホームページに掲載

- 協会けんぽのレセプトデータを使用した〔ジェネリック医薬品実績リスト〕を協会けんぽホームページへ掲載しています。PDFデータに加え、エクセルデータも掲載。

全国健康保険協会  
協会けんぽ

キーワードで探す

給付保険ご加入の方

申請書 よくある質問 協会けんぽ

日本語 Select language

全国健康保険協会について | こんな時に健保 | 健診・保健指導 | 健康サポート | 医療費の節約 | 広報・イベント | PICK UP | お知らせ | 都道府県支部

全国健康保険協会ホーム > 都道府県支部 > 島根 > 広報 > ジェネリック(後発医薬品)

島根支部

島根支部からのお知らせ

所在地・連絡先

評議会

島根支部の健診・保健指導のご案内

健診実施機関一覧等

健康保険委員

健康づくり

広報

健康保険給付に関するお知らせ

ジェネリック(後発医薬品)

ジェネリック医薬品(後発医薬品)実績リストを作成しています  
ジェネリック医薬品(後発医薬品)実績リスト

五十音	No.	医薬品名	メーカー名	薬価基準収載 医薬品コード	薬効分類 コード	一般名処方 の標準的な記載	薬価	数量	医療 機関数	薬局数	患者 数	患者 割合	最安値の後発品 に変更した場合 の可能額(円)	検索用 No.	検索用 薬効分類 コード
ア	1	先発 アーチスト錠10mg	---	2149032F1021			37.2	4,872	14	44	92	13%		1	214
ア	1	後発 カルベジロール錠10mg「サワイ」	沢井製薬	2149032F1013	214	【脱】カルベジロール錠10mg	16.2	21,179	20	141	398			1	214
ア	1	後発 カルベジロール錠10mg「トーワ」	東和薬品	2149032F1013	214	【脱】カルベジロール錠10mg	16.2	9,484	---	33	154	87%	102,312	1	214
ア	1	その他				【脱】カルベジロール錠10mg	~16.2	4,163	---	24	75			1	214
ア	2	先発 アサコール錠400mg	ゼリア新薬	2399009F3028			64.8	22,587	---	37	57	53%		2	239
ア	2	後発 メサラジン腸溶錠400mg「サワイ」	沢井製薬	2399009F3044	239	【脱】メサラジン腸溶錠400mg	31.2	7,659	---	16	23			2	239
ア	2	後発 メサラジン腸溶錠400mg「ファイザー」	マイラン製薬	2399009F3036	239	【脱】メサラジン腸溶錠400mg	31.2	5,768	---	12	17	47%	758,923	2	239
ア	2	後発 メサラジン腸溶錠400mg「F」	富士製薬工業	2399009F3052		【脱】メサラジン腸溶錠400mg	31.2	2,508	---	---	---			2	239
ア	2	後発 メサラジン腸溶錠400mg「KNJ」	小林化工	2399009F3060		【脱】メサラジン腸溶錠400mg	31.2	996	---	---	---			2	239

協会けんぽ島根 ジェネリック医薬品実績リスト

検索

- ジェネリック医薬品採用の際のご参考にお使いくください。
- 先発品に対して使用されているジェネリック医薬品の種類がわかるようになっています。

# 医療機関への主な取り組み

## (2)ジェネリック医薬品疾患別価格差リーフレットを配布(窓口配布用・掲示用)

- 島根県薬剤師会の監修により、先発医薬遺品とジェネリック医薬品の疾患別価格差を記載したリーフレットを作成し、薬局窓口で配布。

(令和2年8月17日送付)  
 薬局：324ヶ所

### 【ジェネリック医薬品疾患別価格差リーフレット】

**ジェネリック医薬品と先発医薬品の価格差別**

ジェネリック医薬品にするとどのくらい安くなるの？  
 先発医薬品との価格差を紹介

全国健康保険協会 島根支部  
 松江市豊町383 山崎中央ビル2階  
 TEL (0852)59-5140

薬用条件	先発医薬品	ジェネリック医薬品	差額
1m1m 1g1m 365日	12,045円	2,190円 5,475円	6,870円 9,855円
薬用条件	先発医薬品	ジェネリック医薬品	差額
1m1m 1g1m 365日	6,570円	2,190円	4,380円
薬用条件	先発医薬品	ジェネリック医薬品	差額
1m1m 1g1m 365日	10,950円	3,285円	8,760円
薬用条件	先発医薬品	ジェネリック医薬品	差額
1m1m 1g2m 90日	2,700円	810円 1,620円	1,890円 1,080円
薬用条件	先発医薬品	ジェネリック医薬品	差額
3.45g 6m 1m	150円	42円 72円	78円 108円
薬用条件	先発医薬品	ジェネリック医薬品	差額
1m1m 1g1m 30日	1,170円	270円 360円	810円 900円

## 医療機関への主な取り組み

### (3)ジェネリック医薬品使用促進ポスター配布

- ジェネリック医薬品使用促進を目的とした啓発ポスターを、医師会・歯科医師会・薬剤師会・島根県・保険者協議会と連名で制作し、診療所・病院・薬局・健康保険委員等へ配布のうえ掲示依頼を実施する。

(令和2年8月17日送付)

医療機関：567ヶ所

薬局：324ヶ所

### 【ジェネリック医薬品使用促進ポスター】



## 医療機関への主な取り組み

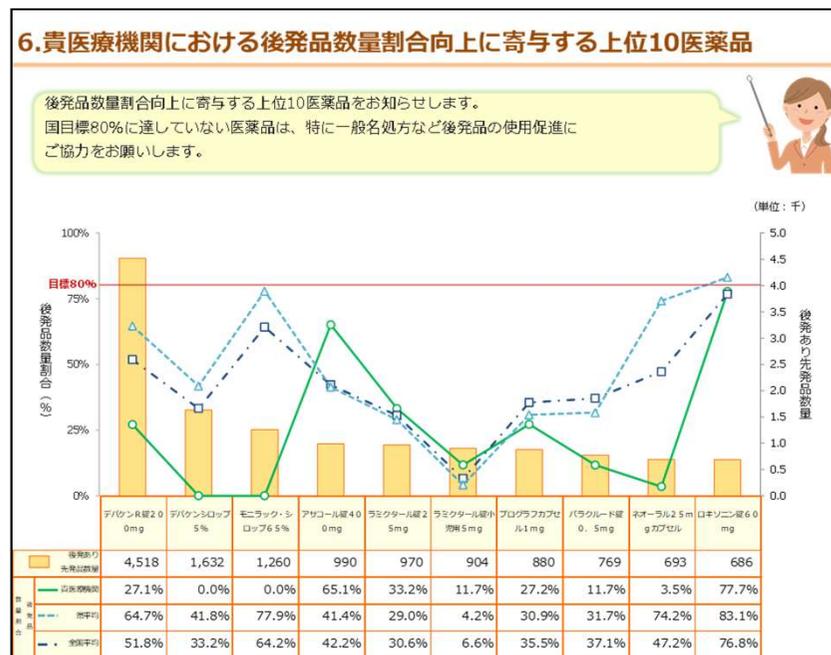
### (4)ジェネリック医薬品使用割合通知

- ジェネリック医薬品使用割合を県平均や全国平均と比較し使用状況を「見える化」した資料を提供することで自院の立ち位置を理解していただくことで使用促進につながることを期待するもの。

#### 【実施状況】

	医療機関	薬局
令和2年4月	501件	319件
令和3年1月		

### 【ジェネリック医薬品使用割合通知（抜粋）】



### (5)ジェネリック医薬品使用促進緊急対策期間

- 薬剤数量多い医療機関・薬局を中心に訪問を実施し、さらなる使用割合の増加につなげる。

#### 【実施状況（令和2年7～9月）】

医療機関	薬局
6件	5件

## 各種媒体による広報

協会けんぽだけでなく、関係団体広報紙等各種媒体を活用した広報を実施しています。

### (1) 紙媒体での広報(島根県薬剤師会会報誌「県薬しまね」掲載)

- レセプトデータを活用し、ジェネリック医薬品の処方実績を取りまとめた「ジェネリック医薬品実績リスト」の活用推進を掲載。(令和2年7月号)
- ジェネリック医薬品軽減額通知の実施について情報掲載。(令和3年1月号)

### (2) 県内市町村と連携した広報

- ジェネリック医薬品使用促進にかかる懸垂幕または幟を市役所庁舎等に掲示し広報を実施。  
(県内8+6町)

### (3) 山陰中央ビルを活用した懸垂幕による広報

- 支部が入居する山陰中央ビルへ懸垂幕を掲示し広報を実施(7月14日～8月12日、30日間)

作成

**全国健康保険協会島根支部 企画総務グループ**  
〒690-8531 松江市殿町383 山陰中央ビル  
TEL.0852-59-5140 FAX.0852-59-5354



協会けんぽ島根支部キャラクター  
しまめちゃん